

障がいのある人のアート活動を支援する人たちのための

# スキルアップセミナー & ワークショップ

障がいのある人たちとアート活動をするうえで  
大切にしたいこと

— 基礎編 —

定員  
各30名

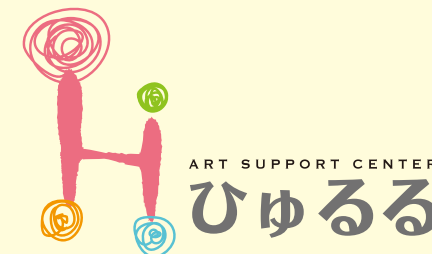
参加費無料



今回は、広島県内でアート活動に取り組む事業所、特別支援学校にご協力いただきセミナーを開催します。各会場の創作現場の生の空気や、想いや工夫の詰まった創作環境づくりなど、実際の雰囲気を実際に感じながら学んでいきたいと思ひます。また、課題を共有し今後について、みなさんとともに考え解決していく、広島スタイルの支援者(アートサポーター)の繋がりをつくっていききたいと思ひます。各会場では、これまで制作した作品や、普段使っている道具や工夫している道具などを見せていただく予定です。障がいのある人のアートや舞台芸術に取り組む上で、本人の想いを引き出し実現していく表現活動とはどのようなものなのか。このセミナーを通して、基幹となる想いを共有したサポーターを増やしていきたいと思ひます。



【主催・問い合わせ先】  
広島県アートサポートセンターひゆるる (NPO法人ひゆるるぼん)  
〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目28-15  
TEL:070-5671-8668 FAX:082-831-6889  
HP▶ <http://hululu.jp> E-mail▶ [hululu@hullpong.jp](mailto:hululu@hullpong.jp)



下記、HP (広島県アートサポートセンターの申込みフォーム)・  
E-mail・FAXいずれかでお申込みください。

HP▶ <http://hululu.jp>

E-mail▶ [hululu@hullpong.jp](mailto:hululu@hullpong.jp) FAX▶ 082-831-6889

ひゆるるHPQRコード▶



# セミナー&ワークショップスケジュール

	第1回	第2回	第3回	第4回
場所	広島県立三原特別支援学校 (三原市) 	社会福祉法人光清学園 (広島市)  ※駐車場はありません。公共機関でお越しください。	社会福祉法人ひかり会 広島ひかり園(廿日市市) 	東区民文化センター (広島市)  ※駐車場は台数に限りがあります。公共機関でお越しください。
日時	9月17日(土) 〒729-2361 広島県三原市小泉町199-2 TEL 0848-66-3030	10月23日(日) 〒734-0001 広島市南区出汐2-3-46 TEL:082-254-0901	11月13日(日) 〒738-0201 広島県廿日市市永原5-1 TEL:0829-74-0057	12月3日(土) 〒732-0055 広島市東区東蟹屋町10-31 TEL 082-264-5551
内容	10:00受付	10:00受付	10:00受付	10:00受付
	10:30~11:00 はじめに アート(表現活動としてのアート)に取り組む意義について NPO法人ひゅーるぼん 理事長 川口 隆司	10:30~11:00 はじめに アート(表現活動としてのアート)に取り組む意義について 広島県アートサポートセンター ひゅるる スタッフ	10:30~12:00 基調講演・質疑応答 片山工房での取り組み(アートに取り組む上で大切にしていること) 講師:片山工房(神戸) 理事長 新川 修平氏	舞台表現ワークショップ 講師:永山 智行氏 (こぶく劇場代表・劇作家・演出家) 内容(予定):劇場公演を映像で鑑賞。こぶく劇場さんの実際の取り組みについての講演。
	11:10~12:10 事例発表 学校での取り組みについて 広島県立三原特別支援学校 部家 光成 教諭 意見交換・質疑応答	11:10~12:10 事例発表 施設での取り組みについて 光清学園 成人部 田淵 謙氏 太田川学園 羽鳥 智裕氏 意見交換・質疑応答	~13:00休憩(昼食) 13:00~13:40 事例発表 施設での取り組みについて 広島ひかり園 日向 典子氏 意見交換・質疑応答	参加対象: 演劇・舞台表現全般に興味のある方、今後取り組んでみたいと思われる方。実際に演劇等活動されている一般の方。障がいのある方やサポートしている方など、どなたでも。
	~13:30休憩(昼食)	~13:30休憩(昼食)	13:40~14:00休憩	
	13:30~15:00 すぐに生かせる表現・技法について 「立体作品の作り方と素材の選び方」 内容:粘土でつくる立体作品の作り方を学びます。 また実際にいろいろな素材に触れ、その素材の特性などについて理解を深めます。 講師: 広島県立三原特別支援学校 部家 光成 教諭 アトリエばお 代表 加藤 宇章氏	13:30~15:00 すぐに生かせる表現・技法について 「見えるものと感じるもの」 内容:鉛筆で写生しながら、目で見えるものと心で感じるものの違いについて学びます。 また、絵の具を混ぜて様々な色を作り、色やその効果についての理解を深めます。 講師: 美術家 松尾 真由美氏	14:00~15:30 すぐに生かせる表現・技法について 「表現の多様性」 内容:片山工房のアーティストの表現方法の紹介をします。 本人の希望を実現するための道具の工夫、環境づくりなど片山工房での実践から表現方法を学びます。 講師: 片山工房 スタッフ 川本 尚美氏 櫻 宣雅氏 久保 遥氏  片山工房さんのHP▶	 こぶく劇場さんのHP▶
15:00終了	15:00終了	16:00終了	15:00終了	
締切	9月9日(金)	10月14日(金)	11月4日(金)	11月25日(金)

※講師は、やむを得ない事情で変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
 ※各回とも定員がいっぱいになり次第終了いたします。キャンセルされる場合は、お早めにご連絡ください。  
 ※詳細内容や、持ち物については参加者の方に別途お知らせします。

## セミナー&ワークショップの施設・学校の紹介



① 広島県立三原特別支援学校  
 広島県内の学校の中でも美術教育に力を入れ、県内のアート公募展にも生徒の作品が多数入選し、高い評価を受けている。卒業後も引き続き、アート活動に取り組む方法などを学校としても模索している。



② 社会福祉法人光清学園  
 活動のひとつとしてアート活動に取り組んでいる。県内のアート公募展にもアーティストが入選している。表現の幅の広がりや作品を社会に出していく方法など、試行錯誤しながら取り組んでいる。



③ 社会福祉法人ひかり会  
 広島ひかり園  
 生活介護というくくりの中で創作活動としてアートに取り組んでいる。県内のアート公募展にも作品が入選し、その中でも刺繍の作品は毎年高い評価を得ており、今年6月アートギャラリーミヤウチ(廿日市)で初めて個展を開催した。



劇団こぶく劇場  
 1990年4月、永山智行氏らを中心に宮崎県都城市で結成。2007年からは障害者も一俳優として参加する作品づくり(みやざき◎まあるい劇場)をはじめ、質の高さ、活動の社会的な広がり、その両面から高く評価されている。



特定非営利活動法人100年福祉会 片山工房  
 兵庫県神戸市長田区に拠点があり、法人の母体は1993年から始まり、いまのかたちの「片山工房」になったのは2003年からである。どんな障がいがあるかと「人」と「表現」を考える場としてアート活動を軸としながら、本人のしたいことを形にしている。神戸を中心にさまざまな作品展を開催し、作品も各展覧会などで評価を得ている。

## セミナー&ワークショップ申込み用紙

氏名:			
所属:			
手話通訳・要約筆記の必要 (有・無)	TEL:	※セミナー当日に連絡のつく番号	
E-mail:	※パソコンからのメールを受信できるもの		
参加希望するところに○をつけてください。 ※複数可能です。			
第1回 広島県立 三原特別支援学校 9月17日(土)	第2回 社会福祉法人 光清学園 10月23日(日)	第3回 社会福祉法人 ひかり会 11月13日(日)	第4回 舞台表現 12月3日(土)